



We Serve

334-C 3R 4Z FUJINOMIYA LIONS CLUB

ウ・サーブ

2023

4

No.706

かえでの里整備事業 桜苗木の植樹 2月26日(日)



作業終了後、笑顔で集合写真



みんなで植樹中です



チェーンソーを操る山本



富士山がきれいに見えていました



植樹をする鈴木会長



添木をウエスで固定して完了

環境・福祉委員長 L 石川 喜美

2月26日(日)の植樹の日の前日に雪が降ったようで薄っすらと雪が残って肌寒い晴天でした。事前に植栽箇所をL塩川進が掘削してくれていましたので、当日は用意した桜の苗木(ソメイヨシノ、8本)をL石川孝の指導の下、メンバー17人で協力して植樹作業を行いました。先ず、掘削穴の中心に苗木を置き苗木の周りに土を埋め戻した後、十分に水を与え添木を打ち込み苗木と添木を

ウエスで保護し完了しました。

「かえでの里」南側(桜植樹の南側)の竹を切る等の整備も行いました。全ての作業が無事に終了する頃には体も温まり心地良い疲労感とで充実した一日でした。

何年後かには、この桜の花が咲くことを願いつつ、メンバーの皆さまのご協力に感謝する次第です。

334-C地区スローガン

足元を固め 原点回帰 “We Serve”

会長スローガン

“明るい未来へ 笑顔で奉仕”

【題字：会長 鈴木貴之】

スマホ・ネット依存症講演会実施

1月24日(火) 黒田小学校
2月21日(火) 第四中学校



▲配信作業を行う金子委員長



▲ネット配信にて講演を行う松井一裕先生



▲講演を受ける四中の生徒たち

青少年委員長 L 金子佳正

2月21日、富士宮第四中学校にて全校生徒を対象に聖明病院臨床心理士の松井先生によるスマホ・ネット依存症講演を実施いたしました。第1回目の黒田小学校に続き、2回目の実施となります。

新型コロナウイルス対策として、会議室からビデオ放送という形でリモートによる実施となり、生徒は各教室で聴講しました。このうち、約半数の生徒が自分のスマホを持ち、ゲーム機はほぼ全員が持っていました。スマホやゲームは1日4時間以上使用すると、使用時間に比例して学業成績が下がる傾向があり、生徒たちはこのデータには関心をもって聞いていました。

質疑応答で、「依存症になったらどうやって治しますか？」という質問が出ました。講師の松井先生は「良い質問です。スマホやゲームの使用時間を記録して、少しずつ時間を短くしていけるよう、家族の協力を得ながら治す試みを続けてみるのが大切です。」と教えてくれました。インターネットやゲームは、これからのデジタル社会において必要不可欠であり、良きコミュニケーションツールにもなりますので、この講演会を参考にして上手に付き合ってもらえたらと思います。

講演終了後、ライオンズクラブによる薬物乱用防止教室を実施しました。生徒たちからは、こちらの感想も多く寄せられました。ネットにより、薬物の情報も目にするところがあるのかもしれない。「薬物は絶対ダメ！」という意識が生まれた良い防止教室になったと思います。ご協力いただいた学校の先生方、委員会メンバーのみなさん、誠にありがとうございました。

スマホ・ネット依存症講演を聴いての感想を紹介
この他にも多くの感想をありがとうございました 青少年委員会

■黒田小学校 (1月24日実施) (先生方の感想)

今回の講座の中で、子供のスマホの所有率が想像以上に高いことに驚きました。子供たちは、社会の流行りや友達の動向など、大人が思っている以上に興味関心が深く、良くも悪くも、子供たち同士のコミュニティであつという間に情報が拡散されることもあります。情報の伝え方や判断の仕方は、それぞれ異なり、些細なことでトラブルに発展するケースも多くあります。情報機器は、使い方次第で子供の探究意欲を伸ばすための有効なツールになります。今回の講座で子供たちの実情を知れたのはとても有意義な機会でした。制限を強めるだけでなく、子供たち自身で適切な使い方を判断できるように学校でも声掛けを行っていきます。

(生徒の感想)

ネットやスマホは便利だけれど、依存症という危険が自分の身近にも起きると知り、びっくりしました。怖いと思ったので、気をつけていきたいです。

■第四中学校 (2月21日実施) (三年生の感想)

私にも、たまにスマホを触っただけなのに、気付けば何時間も触っていたということがあります。依存症の怖さを知り、「どうしたら」気を付けられるのか学ぶことができました。また、薬物も身近に感じなければいけないなと思いました。どちらも同じ「依存症」。気を付けていきたいです。

(二年生の感想)

私はスマホを持っていませんが、今後持つ機会が来た時には正しい使い方と使えるように、今のうちにスマホの恐ろしさと正しい使い方をしっかり理解しておきたいと思いました。保健の授業で、薬物の恐ろしさを習ったことがあります。今回、講演を聞いて理解できた内容が多かったです。大切な人のためにも、薬物には決して手を出しません。

(一年生の感想)

スマホに依存している可能性があったので、将来のために、自分の生活を見直そうと思いました。薬物「みんながやっているから少しだけ…」と危機感が下がってしまうのは、薬物以外にも当てはまるから、周りに流されないように気を付けたいと思います。

研修会・セミナー受講報告

ライオンズ育成グループ研修会

L 伊藤 忠 永

12月9日、オンラインにてライオンズ育成グループ研修会が開催されました。本研修会では、「ライオンズクラブとは」から始まり、「基本事項」、「国際協会」、「8会則地域と日本ライオンズ」、「地区・複合地区」、「会則」、「組織」、「大会」、そして「会員として意識と認識すべき事柄」について諸先輩ライオンに講義をいただきました。

その一方で、本研修会の資料・講義内容は大変ボリュームがあり、全てを理解することは難しいのでポイントを絞って身に付けようと思いながら受講しました。

これが現状ですが、今回の研修会に参加して大変小さな一歩だとは思いますが、本当の意味でのライオンズ会員に近づけたならば幸いです。

4Z GLT・GMT新会員セミナーを受講して

L 杉野 英 昭

2月24日フォレストヒルズのレストランルームにて、334-C地区3R4Zとしての新会員セミナーが開催されました。

ZCであるL石田寛二の開会宣言とゴングのもと各クラブ会長による挨拶と新会員の紹介をいただいた後、まずはL浅井大志によるライオンズ用語についてのセミナーです。私も入会して3年目となりますが、未だに用語を正しく理解していないことに気づくとともに後輩となるライオンもいる中で恥ずかしさを覚えました。やはり用語も本質を理解し正しく行動することこそ真のライオンズクラブ活動だと思いました。

次にL芦澤盛二によるライオンズクラブの歴史から現在に至るまでのセミナーです。毎月の例会についても1分1秒を有意義にするために、多くの準備や意識が重要であることを再認識しました。

お忙しい中、このような機会を作っていただいた諸先輩ライオンに感謝し、より一層の奉仕活動を通じてライオンズクラブを世界に広めてまいります。

新会員セミナーの様子



▲ZC石田寛二の挨拶



▲L芦澤講師の話に聞き入る新会員の皆さん

ライオンズクラブに入会しての抱負

L 杉浦 輝



▲親睦会で余興に参加したL杉浦 輝（左側）

ライオンズに入会し、3ヶ月が過ぎました。

例会や各種事業へと積極的に参加することで多くの学びを得る機会があると思っています。とはいえ、まだまだ自身でこなさなければならない仕事・業務が多く、時間の制約をいかにクリアしていくかが自分の課題だと考えています。

ライオンズクラブ活動を長く続けていくためにも、無理のない範囲で積極的に活動していきたいと思っています。ご指導いただけますよう、よろしくお願い致します。

第1411例会

3月第1例会

2023年3月7日(火) 於 フォレストヒルズ

アテンダンス

申告ドネーション	13件	52,000円
記念日ドネーション	6件	12,000円
献眼ドネーション		
物品ドネーション		
欠席・遅刻・早退ファイン	5件	2,500円
全 員 フ ァ イ ン	49件	8,950円
合 計		75,450円

会員数及び出席率

総会員数	正会員	家族会員	終身会員	優待会員
68	51	14	2	
不在会員	病欠欠席	届出欠席	公務欠席	出席率
1	1	1		98.04%

【メイクアップ後出席率 100%】



▲L 浅井、L 山田 4回目となるPMJFラベルピン



▲富士宮警察署 飯田交通課長による講演



▲3月誕生日おめでとうございます L 石川実果、L 伊藤忠永

第1412例会

3月第2例会

2023年3月21日(火) 於 フォレストヒルズ

アテンダンス

申告ドネーション	21件	57,000円
記念日ドネーション		
献眼ドネーション		
物品ドネーション	1件	6,000円
欠席・遅刻・早退ファイン	1件	500円
全 員 フ ァ イ ン	44件	8,000円
合 計		71,500円

会員数及び出席率

総会員数	正会員	家族会員	終身会員	優待会員
68	51	14	2	
不在会員	病欠欠席	届出欠席	公務欠席	出席率
1	1	4	2	92.16%

【メイクアップ後出席率 100%】



▲GLT・GMT委員会と新会員セミナー講師によるローア



▲祝ご結婚！ L 石川桂三の長子



▲新会員セミナー受講について思いを語る L 杉野